

10年先の経営に資する技術革新を目指し、企業の総合力を磨く

2024年度

# 革新的製品創出サロン

産産および産学連携を通じて革新的製品を構想・育成し、  
中堅中小企業の現有技術を結集し、創出を目指す

とき

① 2024年 7月30日(火) 15:00~19:30

② 2024年 9月30日(月) 15:00~18:40

③ 2024年 11月28日(木) 15:00~18:40

④ 2025年 1月30日(木) 15:00~19:20

⑤ 2025年 3月18日(火) 15:00~19:20

参加方法

会場 (中部生産性本部セミナールーム)

対象

中堅中小企業の経営幹部・技術担当責任者

一般財団法人中部生産性本部

## 革新的製品創出サロン内容

●● FACE to FACE での情報交換を尊重し、オンライン配信は無しとさせていただきます。

### 第1回

とき:2024年7月30日(火)  
15:00~19:30

会場:中部生産性本部セミナールームC

懇親会あり(別会場)

### ものづくりデザイン

#### ■講演「常温セラミックコーティング」 ～ AD 法の基礎から応用まで～

(国研)産業技術総合研究所 首席研究員 明渡 純 氏

「エアロゾルデポジション (AD) 法によるセラミックコーティングは、従来溶射法と比較し、常温で緻密なセラミックス膜を高密着に形成できる技術として注目されている。現在、半導体製造装置の低発塵プラズマ耐食部材や色素増感型太陽電池の酸化チタン電極層の形成で実用化され、蓄電池応用や燃料電池応用、放熱基板、樹脂部材のハードコート、防錆コートなどの用途でも活発な研究開発が進んでいる。この手法では、「常温衝撃固化現象」とよばれる粒子結合現象により膜を形成する。本講演では、AD 法のプロセス基礎と応用開発事例、さらには海外研究動向について紹介する。」との言葉を講師より頂戴しています。

#### ■講演「水素エンジンの基礎から応用—今なぜ水素エンジンか?—」

i LABO 株式会社 取締役 山根研究センター所長 山根 公高 氏

「地球温暖化問題と化石燃料枯渇化問題を同時に解決するために東京都市大学で1970年から、水素エンジンの実用化を目的に、実施してきた水素を燃料とする水素エンジンは、社会の必然性から発生している。その技術は1990年代で実現可能であることがすでに示されており、それを社会実装するためにi Labo 株式会社を2019年に創設して、社会普及を推進している。この講演を通して水素エンジンの社会普及のために水素エンジンの意義を改めてご理解いただきたい。」との言葉を講師から頂戴しています。

#### ■新会員紹介

### モビリティ

#### ■講演「自動車の知能化—人との共生をめざして—」

名古屋大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻 教授 鈴木 達也 氏

未来社会において不可欠となる「知能化機械と人間の共生」を念頭に置き、システム制御工学の視点からモビリティ系における重要な課題の解決に取り組まれています。交通やエネルギーマネジメントといった社会システムの課題から自動運転、高度運転支援等、自動車の知能化に関する課題まで、特に「人中心」の目線からモビリティ系における様々なレイヤーでの重要課題に対する取り組みをお伺いします。

#### ■講演「ドローン技術の災害対策への応用」

中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター 准教授 杉田 暁 氏

サイバー・物理空間の高度な融合による未来社会: Society5.0において、俯瞰的な空間情報を多解像度で収集するリモートセンシング情報は重要な基盤データとなります。特に、自然災害の多い日本では、ドローン・航空機・人工衛星を相補的に運用した災害情報収集は重要です。災害対応で活用の期待される人工知能による画像判読技術や、地上のセンサーとデータ同化したリアルタイムの予測技術についても紹介して頂きます。

### 第2回

とき:2024年9月30日(月)  
15:00~18:40

会場:中部生産性本部セミナールームC

+ワンコイン交流会(同会場)

### 自立共生

#### ■講演「〈弱いロボット〉研究のめざすもの コンヴィヴィアリティのためのHRIデザイン」

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田 美智男 氏

「効率性や利便性の追求は、わたしたちを本当に幸せなものとしているのか。こうした議論は、このところ各所で同時多発的になされています。本講演では、私どもの進める〈弱いロボット〉の研究やイヴァン・イリイチの『コンヴィヴィアリティのための道具』における議論を手掛かりに、人と自動運転システムや生成AI、そしてソーシャルなロボットとが、ほどよく自立共生しあう姿について考えてみたいと思います。」との言葉を岡田先生から頂戴しています。

### 第3回

とき:2024年11月28日(木)  
15:00~18:40

会場:中部生産性本部セミナールームC

+ワンコイン交流会(同会場)

### 健康・医療

#### ■講演「身近な眼の病気：白内障と緑内障」

医療法人 安間眼科 院長 安間 哲史 氏

社会の高齢化に伴い、白内障や緑内障の方が増えてきています。白内障が加齢に伴った疾患であることは良く知られていますが、緑内障も加齢とともに有病率が増えてきますので、人間ドックでは緑内障に注目した眼底検査を行っています。今回は、この身近な眼の病気である白内障と緑内障につきまして、その概要と対策につき、安間眼科創設以来110余年の歴史を刻まれる安間院長よりお話いただく予定です。

## (付加価値創出力強化)

### ■講演「製造業におけるデジタルツイン導入の課題と研究事例」

～効率的なシステム構築の実現に向けたプロトタイピング手法～

名古屋工業大学大学院 工学専攻 知能情報プログラム准教授 大塚 孝信 氏

情報化社会により、日々の生活を便利にするシステムが多く登場しています。IoT と AI 技術の発展により、社会のあらゆるデータが収集され、活用される未来では情報の収集方法や応用が重要です。近年では、デジタルツインやデジタルトランスフォーメーションの活用が求められていますが、全ての課題を解決できるわけではありません。特に、デジタル化だけを前提とするのではなく、新しい価値を創造することが重要です。本講演では、IoT, AI 技術を用いてどんなことができるのか、新しい価値創造に必要な技術を最新の研究事例とともに、製造業におけるデジタルツインのポイントと、実際に課題を解決するためのプロトタイピングの手法を紹介いただきます。

## 第4回

とき:2025年1月30日(木)  
15:00~19:20

会場:中部生産性本部セミナールームC  
+ワンコイン交流会 (同会場)

### ■講演「若者たちが求める愛知の産業構造－製造業へのエール－」

岐阜大学客員教授 名古屋都市センター特任アドバイザー 加藤 義人 氏

「愛知県から大量の若者が流出している。モノづくりの心臓部である西三河地域でさえ 2023 年には社会増が消え自然減となって人口減少に転換した。若者たちはモノづくりをリスペクトしながらも自身の活躍機会として視野に入れていない。ミッションドリブンな若者たちが惹かれるのは「経済処遇と社会貢献を両立できる」活躍機会だ。これに応えるには付加価値創出力を上げる必要があり、機能・業種の観点から産業構造を高度化していく必要がある。」との言葉を講師より頂戴しています。

### ■情報提供「2025 年度（補正含み）予算企業支援施策の概要」

経済産業省 中部経済産業局

ご担当者

## 第5回

とき:2025年3月18日(火)  
15:00~19:20

会場:中部生産性本部セミナールームC

懇親会あり (別会場)

## 脱炭素

### ■講演「SCOPE1 & 2算定を組み込んだ

サプライチェーンマネジメント・デザインで勝ち抜く」

名古屋大学大学院化学システム工学専攻 准教授 小林 敬幸 氏

「高品質で低コストな製品やサービスを提供することに加え、環境への配慮や貢献を伴うビジネスへと変化する姿勢が強く求められています。そのためには「環境への配慮」を数値を使って示す方法を持つ必要があります。その一つが Scope と呼ばれる二酸化炭素 (CO2) の実質排出量を算定する手法です。講演では、Scope 算定法と活用法、さらには、受講者と直接意見交換しながら、脱炭素化への対策について一緒に考える時間にしたい。」との言葉を講師より頂戴しています。

## 会員情報

### ■紹介「わが社の一年（一念）コーナー」

会員企業様取り組みのご紹介

会員企業様

5 社程



## 技術スタッフ

### ◆ 顧問: 小橋 眞

名古屋大学 大学院工学研究科長・工学部長  
(物質プロセス工学専攻 教授)

### ◆ 全体コーディネーター: 小澤 理夫

中部生産性本部スタッフ (事業革新サポート)

### ◆ アドバイザー: 三留 秀人(仮)

名古屋産業科学研究所 産業連携支援担当部長

### ◆ オルガニザー: 近藤 元博

愛知工業大学 総合技術研究所 教授

## ◆ 申し込み方法

中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。  
<https://www.cpc.or.jp/cpc/publics/index/104/>

中部生産性本部

検索



申し込みページ

## ◆ 開催要領

### 構成

講演と懇親会（あるいはワンコイン交流会）の2本立て開催

### とき

2024年7月30日（火）～2025年3月18日（火）〈全5回〉

### 会場

中部生産性本部セミナールーム 〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15（豊島ビル11階）  
※ オンライン配信はございません

### 対象

中堅中小企業の経営幹部・技術担当責任者

※企業規模目安として、従業員30名程度以上

### 参加費

95,700円（資料代・懇親会費2回分・消費税を含む）

注）懇親会のないサロン開催時、ワンコイン交流会に参加される方は会場で500円お支払い願います

### 申込期限

2024年 7月23日（火）

### 定員

30名

※定員になり次第、締め切らせていただきます

## ◆ お申込みにあたってのお願い及び注意事項

下記事項を確認、同意の上、お申し込みをお願いします。

- ① 講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更をさせていただく場合がございます。
- ② 各回の案内は、開催約1ヶ月前にメールにてご連絡いたします。
- ③ 受付後、請求書をお送りいたします。請求書に記載の振込期日までにお振込み願います。なお、振込手数料については、お客様にてご負担願います。また、請求書のメール送付ご希望の方は申込みフォーム備考欄にご希望の旨ご記入ください。
- ④ キャンセルは、7月23日（火）までをお願いいたします。それ以降の参加費の払戻しはいたしかねますので、代理の方のご派遣をご検討願います。また、無断欠席のないようご協力をお願いいたします。
- ⑤ 業種業態もしくは既存会員様との競合状況によっては、参加をお断りする場合がございます。
- ⑥ 講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。
- ⑦ お申込者もしくは代理参加以外の参加はご遠慮願います。
- ⑧ 本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

### お問い合わせ先

一般財団法人中部生産性本部 担当：雲井・小澤・鷹見

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

TEL：052-221-1261 FAX：052-221-1265 <https://www.cpc.or.jp/cpc/>